

可搬型甲状腺モニタ

高バックグラウンド対応甲状腺モニタ

原子力災害時における甲状腺被ばく線量モニタリングが可能



測定部

昇降台座

小児の測定

小柄な方の測定

大柄な方の測定

特長

- **高バックグラウンド(BG)環境下で測定可能**
遮蔽一体型の構造により、甲状腺以外(衣服、周囲等)からのBG放射線を低減
分析に優れた検出器により、甲状腺の放射性ヨウ素を同定し精確に定量
- **可搬型により様々な場所へ容易に持ち込み測定が可能**
測定部と昇降台座の分離機構により、軽量化して設置
- **測定結果から甲状腺被ばく線量(Sv)を自動計算可能**
原子力災害対策指針に規定される甲状腺被ばく線量(甲状腺等価線量)まで自動計算
- **短時間で測定可能**
甲状腺被ばく線量を60秒で測定

仕様

測定線種	γ線 (¹³¹ I)
検出部	CdZnTe(テルル化亜鉛カドミウム半導体)
測定時間	60秒
検出限界 (甲状腺等価線量)	< 10mSv (成人、4週間後の測定、BG線量率< 5μSv/h) < 100mSv (小児、4週間後の測定、BG線量率< 5μSv/h)
検出限界 (放射能)	< 65Bq (BG線量率< 0.05μSv/h) ※測定時間180秒の場合 < 35Bq < 500Bq (BG線量率< 5μSv/h) ※測定時間180秒の場合 < 300Bq
機能	体格に合わせた高さ、角度の調整 甲状腺被ばく線量(mSv)の自動計算 甲状腺放射能(測定時、摂取時)の自動計算 乳幼児の代理測定 被験者、検査員の登録 詳細ログ表示、被験者測定結果の帳票出力、詳細データのCSV出力 スペクトル表示
記録	パソコンに自動保存
電源	USBケーブルによりパソコンから供給
本体寸法・重量	寸法: 幅約35cm×奥行約36cm×高さ約28~40cm 重量: 約20kg(検出部:約10kg)
構成	測定部 1台、昇降台座 1台、パソコン 1台、BG測定用ファントム 1式、収納ケース 1箱

制御ソフト

甲状腺モニタ

測定 ログ BG 設定 メンテナンス MCA

測定待機中

摂取推定日 2024年08月06日 09時 判定基準: 10.0 mSv

測定日 2024年08月06日 09時 測定時間: 60 秒

経過日数 0日 0時間 更新 検査員・装置情報...

測定結果

被検者 ID 検出下限値 - mSv

氏名 甲状腺被ばく線量 - mSv

年齢 歳

代理測定者 ID 検出下限値 - mSv

氏名 甲状腺被ばく線量 - mSv

年齢 歳

※測定を開始できます。
被検者の情報を入力してください(黄色は必須項目)。
検査者は代理測定者がモニタの検査位置につきましたら、「測定開始」ボタンを押してください。

測定開始 測定中止...

2024/08/06 09:33:35 Ver.1.0.0.0

測定画面

甲状腺モニタ

測定 ログ BG 設定 メンテナンス MCA

測定結果

項目 値

No. 1

代理測定 -

ID -

氏名 -

年齢 0

摂取日 2024年07月22日

摂取時刻 13時

測定日 2024年07月23日

測定時刻 13時

経過日数 1.0

甲状腺放射能(測定日) Bq 7571

甲状腺放射能(摂取日) Bq 34256

甲状腺被ばく線量 mSv 113.0

判定基準名称 甲状腺被ばく線量

判定基準値 10.0

判定基準単位 mSv

判定 基準以上

検査者所属

検査者氏名

測定場所

検出器1 SN 1234

検出器2 SN 2345

校正日 2023年02月13日

検索数: 5

測定日 氏名 判定

2024年07月23日 基準以上

2024年07月23日 基準以下

2024年07月23日 基準以下

2024年07月23日 山田太郎 基準以下

2024年07月24日 山田太郎 基準以上

スペクトル表示... 印刷... CSV...

2024/07/24 10:50:31 Ver.1.0.0.0

ログ画面

●この製品の仕様・外観は、予告なく変更する場合があります。

CHIYODA TECHNOL CORPORATION

TECHNOL 株式会社 千代田テクノリ 原子力事業本部

〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-4 BIZCORE御茶ノ水

TEL 03-3518-5696

FAX 03-3518-5442

ホームページURL <http://www.c-technol.co.jp/>

G-13/01 1704 HB